

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆民間平均給与、過去最高478万円 国税庁が2024年分調査

・国税庁は2024年分の民間給与実態統計調査の結果を公表した。民間企業の社員やパート従業員らが1年間で得た給与の平均は前年比3.9%増の478万円で、1997年の467万円を上回り、統計を始めた1949年以降で最高だった。増加は4年連続。人手不足を受けた賃金見直しや、最低賃金の引き上げなどが寄与したとみられる。

◆実質賃金7月確報、0.2%減に下方修正 7カ月連続マイナスに

・厚生労働省が発表した7月の毎月勤労統計調査(確報値、従業員5人以上)によると、物価変動の影響を除いた実質賃金は前年同月比で0.2%減となった。速報値では0.5%の増加だったが、0.7ポイント下方修正。実質賃金は7カ月連続のマイナスとなった。名目賃金にあたる1人あたりの現金給与総額は3.4%増えて41万6744円。速報値は4.1%増だった。

◆10月からこう変わる コーラや光熱費値上げ、75歳以上の医療費上限も

・10月1日から暮らしに関わる制度や価格などが変わる。75歳以上の医療費の窓口負担の上限が引き上げられるほか、一部清涼飲料水の500ミリリットルの値段が200円に上がる。有料インターネットサービス「NHK ワン」開始で受信料を払わなければネット配信が見られない。医療費の2割を自己負担する75歳以上の一部で外来の負担上限が上がる。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆休廃業動向1-8月、建設業が5938件で最多 「前向きな廃業」浸透

・帝国データバンクが発表した「全国企業休廃業・解散動向調査」によると、2025年1月から8月までに全国で休業・廃業・解散した企業は4万7078件に達し、前年同期比で約4000件(9.3%)増加。年間では初めて7万件台に到達する可能性が高まっており、2016年の現行基準開始以降で過去最多を更新する見通しとなっている。

◆大建工業、「DAIKEN」に社名変更

・DAIKENは、創立80周年を迎えた9月26日に、大建工業株式会社から「DAIKEN株式会社」に社名変更した。新社名では「工業」を外し、漢字表記からアルファベット表記へ刷新。提供価値を「モノ」から「コト」へと変革する姿勢と、グローバル展開への加速を明確にした。

◆パナソニックHD、名証の上場を廃止 管理コスト削減

・パナソニックホールディングス(HD)は名古屋証券取引所の同社株式の上場廃止を申請すると発表。名証プレミアム市場に上場しているが売買実績は少ない。東京証券取引所に一本化し重複上場による管理コストを削減する。10月初旬までに申請する。書類が受理された後、整理銘柄に指定された日から原則1カ月後に上場廃止となる予定。

《 注目商品 》

■パロマ、排水管の清潔を保つウルトラファインバブル給湯器

・ウルトラファインバブルを発生する給湯器「BRIGHTS GRAND(ブライツグランド)」シリーズを発売。従来の「ブライツ」と機器本体の大きさはそのままに、ウルトラファインバブル発生装置を内蔵。水流のエネルギーを利用してウルトラファインバブルを生成。



■アイリスオーヤマ、水洗いできる「気化式加湿器 enemist」

・当社の加湿器として初めて、工具を使わずに本体からファンやファンカバーを取り外し、水洗いできる「気化式加湿器 enemist(エネミスト)」を発売。ヒーターを使用しない気化式採用で吹き出し口が熱くならず、小さな子供がいる家庭でも安全に使用できる。



■永大産業、曲線を組み込んだ高意匠木目柄ドア

・視覚的な温かみや心地よさにこだわった内装建材「スキスムT mode4α」を2026年1月13日に発売。特殊エンボス加工により、天然木の美しい佇まいや各樹種の触感・質感をリアルに再現した高意匠木目柄。室内ドアは曲線のある有機的なデザインを採用。

